

令和2年度臨地実習終了式学校長挨拶

日時:令和2年11月27日

場所:セミナールーム

皆さん、臨地実習終了、おめでとうございます。

実習を終えて、今皆さんはどのような気持ちでしょうか。

先日、皆さんの代表の方と少しお話をした時に、正直、とてもホッとしているといった感想を聞くことができました。一方で、実際の看護現場で仕事をする事を考えれば、実習を終えたからといっても、まだまだ不安な面も多くあると思います。特に、今年度はコロナ禍もあり、病院等の施設ではなく校内での実習となったものもあり、例年どおりの臨地実習ができずに終わった部分もあったと思います。しかし、優れた医療環境の場で学ばせていただいたことによって、皆さんは逞しく成長してきたと思いますし、本日の皆さんの姿からも実感することができ、嬉しく思います。

多くの実習病院では、看護部長を始めとして各病棟の看護師長や実習の指導者の方々に臨床現場に対応した実践的な指導をしていただきました。さらには、多くの医師講師等の先生方には、御多用な中、後進を育成するという思いから熱心に講義をしていただきました。このように、日々積み重ねてきた学習や経験が、来春、社会人として臨床現場で、しっかりと生かされていくことと思います。

コロナ禍の中、病院等の施設で実習を受け入れていただいたことに感謝し、これからも看護の心を大切にしてほしいと思います。

残された専攻科の生活では、臨地実習の学びを看護研究として整理するなど、学習のまとめをしっかりと行ってください。

実習は終わりましたが、これからの数か月が大切となると思います。最後まで集中力を欠くことがないように、日々努力し、看護師国家試験に自信をもって臨んでほしいと思います。そして、皆さん全員の合格を願っています。

令和2年11月24日

校長 平田 浩一